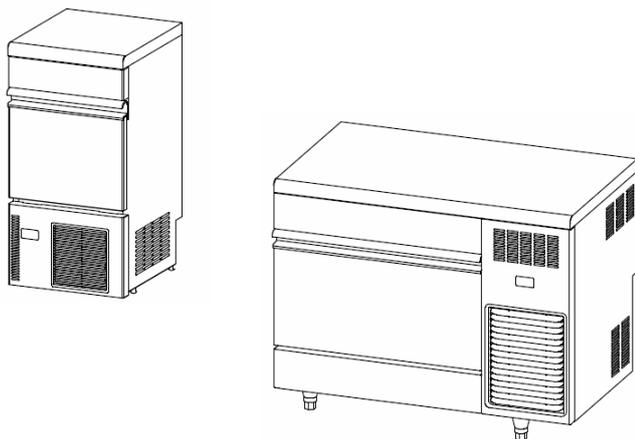


製氷機

取扱・据付工事説明書

- 形名 FIC-A25KT2
FIC-A35KT2
FIC-A45KT2
FIC-A65KT2
FIC-A65KV2
FIC-A75KT2
FIC-A75KV2
FIC-A95KT2
FIC-A95KV2



もくじ

安全のために

- 安全上のご注意 2~4

ご使用の前に

- 各部の名前とはたらき 5~6
- 付属品 7
- 注意ラベル 8
- お使いになる前に 9~10

正しい使い方

- 運転のしかた 11~12
- 氷のくぼみの大きさを変えたいとき 13
- 停止のしかた 14
- 寒冷時の水抜きのみ 15
- 長期停止 15

お手入れ

- お手入れと点検 16
- 毎日のお手入れ 17
- 1週間に1回のお手入れ 17
- 1カ月に2~3回のお手入れ 17
- 1カ月に1回のお手入れ 18
- 1カ月に1回の点検 18
- 1年に1~2回の点検 18~19

点検・サービス

- 修理を依頼する前に 20~21
- 移設・廃棄・譲渡 22
- 保証とアフターサービス 23

据付工事説明

- このたびは、製氷機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解してください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
 電源プラグをコンセントから抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり十分に理解すること

- ケガの原因になります。



よく読む

据付けは、販売店または専門業者に依頼すること

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。



専門業者

アース工事を必ず行なうこと

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



必ずアースに接続すること

電源は専用コンセントを使用すること

- 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱・火災の原因になります。



タコ足禁止

屋外で使用しないこと

- 雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据付けないこと

- 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

酸などの腐蝕性ガスのある場所には据え付けしないで下さい。

- 冷却回路や電装品の腐蝕により絶縁が低下して漏電・感電・故障の原因になります。



腐蝕性ガス禁止

製品に直接水をかけないこと

- ショート・感電・錆・故障の原因になります。



水かけ禁止

ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと

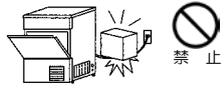
- 感電の原因になります。



ぬれ手禁止

電源コードを傷つけないこと

- 加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、束ねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

- ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



点検清掃

水を衛生的にご使用いただくために、日常の管理、点検を行うこと

- 水質などの周囲環境や経年劣化により、水垢やカビ、サビの発生、塗装やメッキ面の劣化剥離などが発生し、水に混入することがあります。



点検

揮発性、引火性のあるものはストッカー内に入れたり近くで使用しないこと

- 爆発や火災の原因になります。



引火物禁止

漏電遮断器が『OFF（切）』に作動した場合には、最寄りの販売店に連絡すること

- 無理にスイッチを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。



専門業者

扉にぶらさがったり乗ったりしないこと

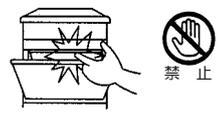
- 扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。



禁止

製氷機構部に絶対に物や手を入れないこと

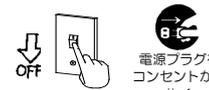
- 製氷機構部が動いたとき、ケガの原因になります。



禁止

異常時は漏電遮断器を『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜き、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

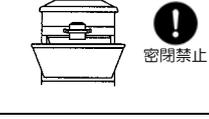
- 異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く

製品を一時的に使用を中止して保管する場合は扉を密閉できないようにすること

- 幼児が閉じ込められる原因になります。



密閉禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行わないこと

- 分解・修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。



分解禁止

いかなる場合も改造は行わないこと

- 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。



改造禁止

移設は、販売店または専門業者に相談すること

- 据付けに不備があると水漏れ・感電・火災等の原因になります。



専門業者

廃棄は専門の業者に依頼すること

- 放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。適切な廃棄を行わない場合、違法行為となり罰則が課せられます。



専門業者

据付け工事は、この据付け工事説明書に従って確実に行うこと

- 据付けに不備があると、感電・火災の原因になります



据付け工事

電気工事は『電気設備に関する技術基準』『内線規程』および、本据付け工事説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用すること

- 電源回路不良・容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。



電気工事

据付けは製品の重量に充分耐える所に確実に行うこと

- 強度不足や取付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりケガの原因になります。



強度確認

⚠ 注意

床面が丈夫で平な所に水平になるように据付け、転倒防止の処置をすること

- 据付けに不備があると、転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。



設置注意

製氷機は周囲温度が0℃以下になる場所へは据付けないこと

- 給水管の破裂から浸水し、家財を濡らしたり足を滑らせて転倒する等ケガなどの原因になることがあります。



設置注意

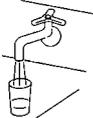
給水圧は0.05~0.78MPaの範囲内で使用すること



水圧

製氷に使用する水は、必ず水道水(飲料用)を使用すること

- 水道水(飲料用)以外を使用すると健康障害の原因になることがあります。



飲料水

浄水器の水は使用しないこと

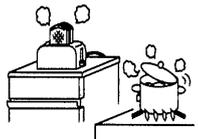
- 浄水器の水を製氷機に使用すると水道水中の塩素が除去されて、ヌメリ、カビの発生や、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



禁止

熱器具(ガスコンロ等)を載せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

- 熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



禁止

製品の上にものを置かないこと

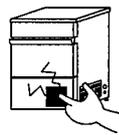
- 落下しケガをしたり、電気部品の絶縁が悪くなり漏電の原因になることがあります。



禁止

吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと

- 内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になることがあります。



挿入禁止

製氷機のストックカーの中には氷や付属のスコップ以外のものは入れないこと

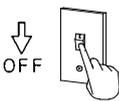
- 雑菌が繁殖し健康障害の原因になることがあります。



禁止

掃除をするときや点検のときは、必ず漏電遮断器を『OFF(切)』にしてから電源プラグも抜くこと

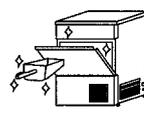
- 思わぬところに水が入って感電したり、火傷の原因になることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

アイススコップとスコップホルダーは毎日、ストックカーは1ヶ月に2~3回清掃すること

- 清掃しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



清掃

周囲温度が0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは必ず水抜きをすること

- 給水管の破損により、水漏れし周囲(家財等)をぬらす原因になることがあります。



水抜き

凝縮器フィルターを掃除するため取り外す際、凝縮器フィンに直接手を触れないこと

- ケガの原因になることがあります。



挿入禁止

製氷機のストックカーの扉は開けたままにしないこと

- 雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



開放禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

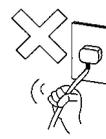
- スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

- 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

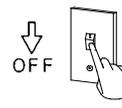
- 漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



動作点検

一週間以上使用しない場合は、安全のため漏電遮断器を『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと

- ほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

一週間以上ご使用にならない場合は、水抜きをすること

- 水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



水抜き

断水のときは、漏電遮断器を『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜き、給水バルブを閉めること

- 開けておくと通水時赤水が発生し、不衛生な水ができる原因になることがあります。



断水時間弁

⚠ 注意

排水管や排水トラップに詰まりがないか、年に1~2回点検を行うこと

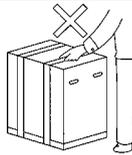
- 排水管や排水トラップが詰まると、漏水から周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。



排水点検

包装用ハンドルを持って荷扱いたないこと

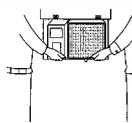
- バンドが切れ、ケガをする恐れがあります。



禁止

機械室パネルを外して、底を持って運搬すること

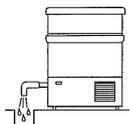
- 不用意に運搬しますと、ケガをすることがあります。また、製氷機は45度以上傾けて運搬しないでください。



運搬

取扱・据付工事説明書にしたがって、給排水工事を確実に行うこと

- 給排水の水漏れから周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。



配管

電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと

- 感電やショートの原因になることがあります。



禁止

手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

- 汚れた手で行うと健康障害の原因になります。



清潔

ステンレスも錆びることがあります

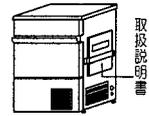
- ステンレスも環境や使い方によって錆びることがあります。塩分などのさびの原因となる汚れは中性洗剤で落としてください。ステンレス表面は常にきれいにしておくよう心がけてください。



清潔

譲渡の際は、この「取扱・据付工事説明書」を商品本体の目立つ所にテープ止めること

- 新しく所有者となる方が安全で正しい使い方を知るために必要となります。



テープ止め

床がぬれても良いところに据え付けること

- 給排水の水漏れや結露水の発生から周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。



設置場所

電源電圧は90~110Vの範囲内で使用すること

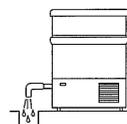
- この範囲以外では機械の故障や製氷能力の低下を招く原因になることがあります。



電圧

排水配管は十分な排水能力を確保すること

- 毎分2~8Lの流量で間欠的に排水します。また、部品が故障した場合は、連続的に排水することがあります。十分な排水能力がない場合には、水が床に漏れます。



排水工事

必ず清掃を行うこと

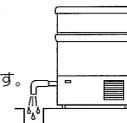
- 清掃しないと雑菌が繁殖し、健康障害のおそれがあります。



清潔

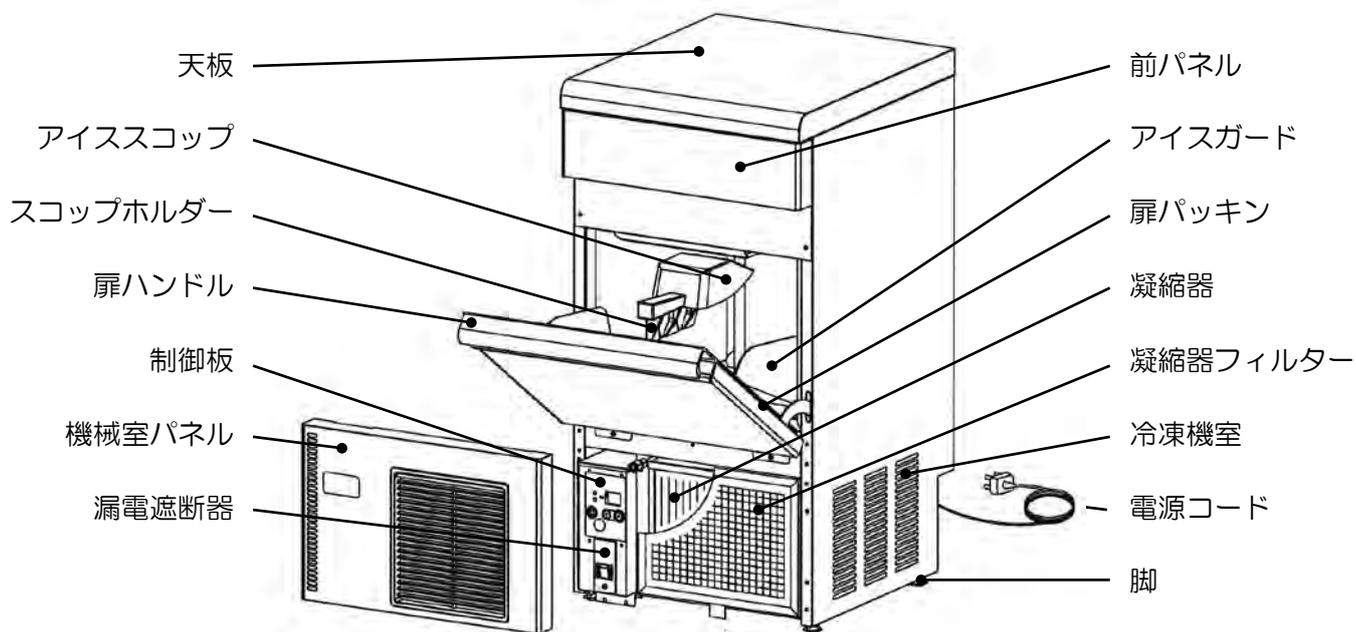
製品を移動するときは、排水を完全に行ってください

- 水抜き方法にて、排水を完全に行ってください。水漏れや水の飛散から漏電・感電の原因になることがあります。

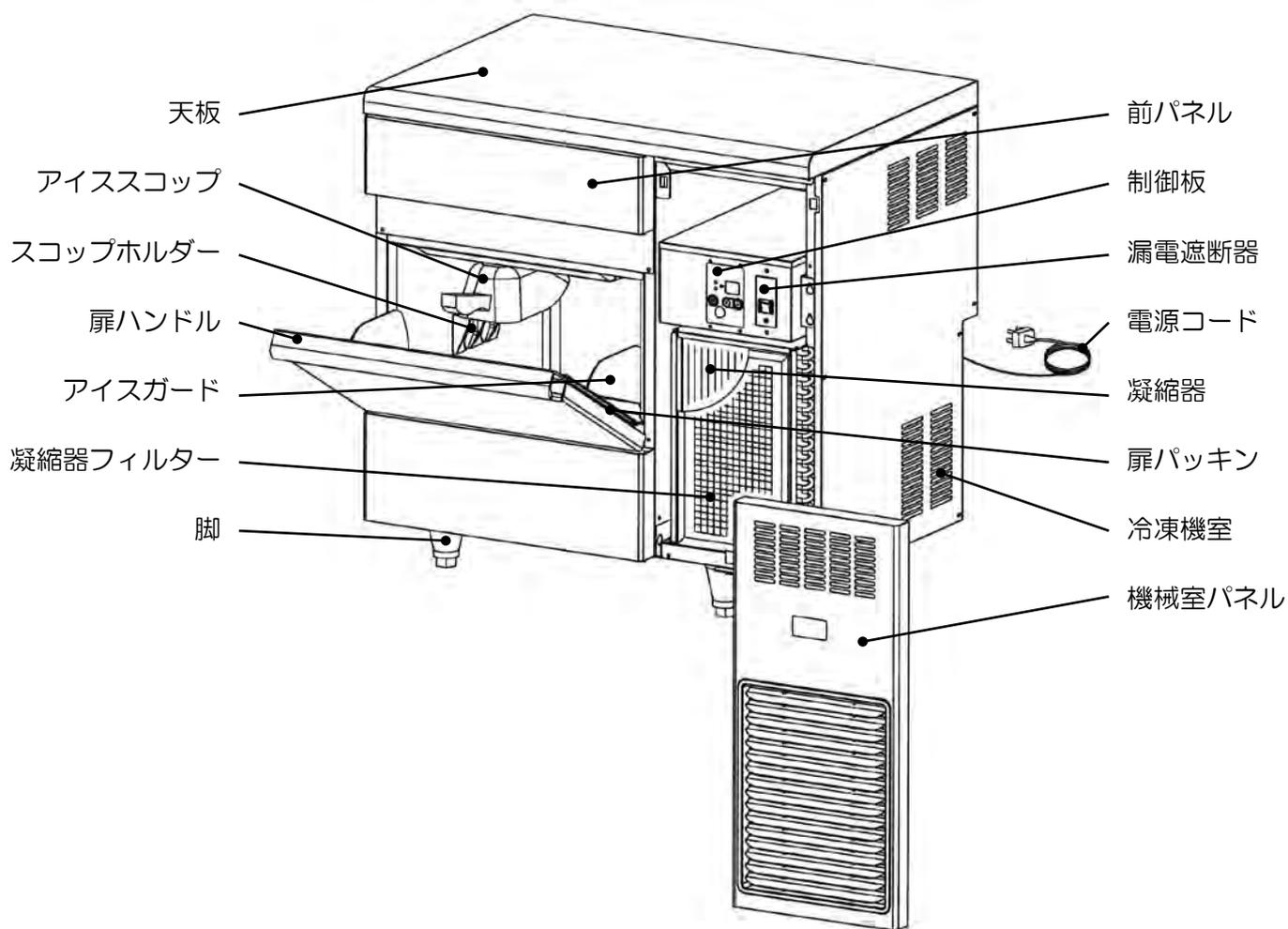


各部の名前とはたらき

■FIC-A25/35/45KT2、FIC-A65/75/95KV2

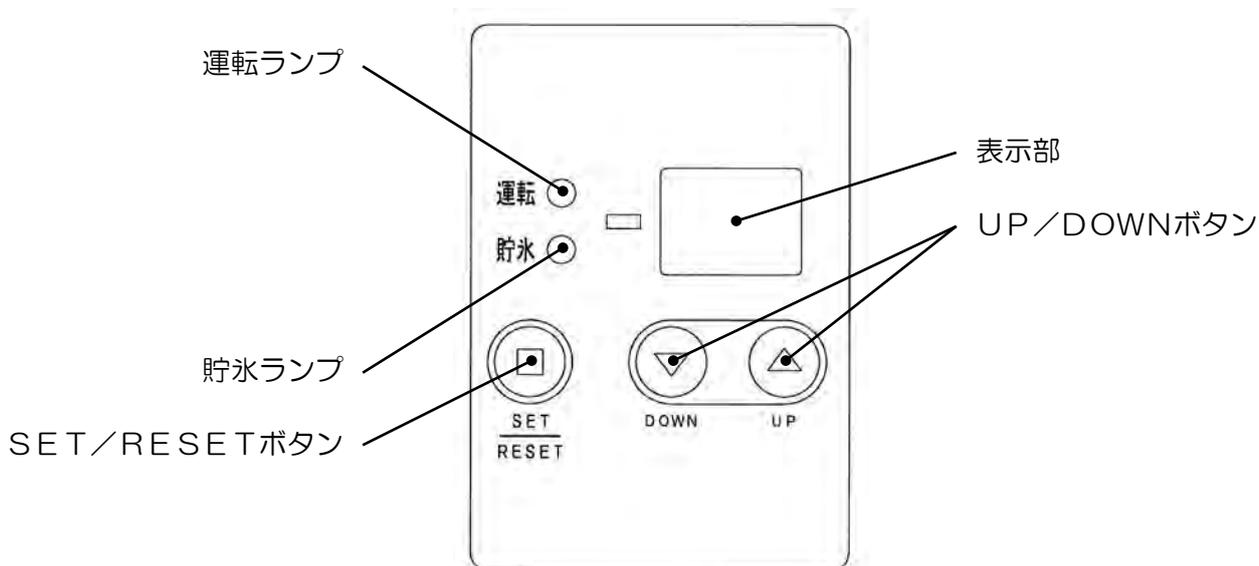


■FIC-A65/75/95KT2



- 天板……………この下に製氷機構部があります。
- 前パネル……………この奥に製氷機構部があります。
- 脚……………製品高さを調整できます。(水平レベル調整)
- 電源コード……………電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
- 冷凍機室……………圧縮機や凝縮器があります。
- 凝縮器……………フィンから庫内の熱を庫外へ放ちます。
- 凝縮器フィルター……………凝縮器の目詰まりを防ぎます。
- 機械室パネル……………この奥に冷凍機があります。
- 漏電遮断器……………漏電したときに動作します。
- 制御板……………6ページに詳細説明しています。
- 扉ハンドル……………扉の開閉に使用します。
- 扉パッキン……………マグネットが入っており、扉を本体に密着させます。
- アイススコップ……………氷の取り出しに使います。
- スコップホルダー……………ここにアイススコップを収納します。
- アイスガード……………庫内の氷のこぼれ落ちを防ぎます。

■ 制御板



- 運転ランプ……………電源投入時点灯します。
- 表示部……………この部分に氷のくぼみのサイズや警報が表示されます。
- UP/DOWNボタン……………氷のくぼみの大きさを変えるのに使います。
(13ページに詳細説明を記載しています。)
- SET/RESETボタン……………氷のくぼみの大きさを変えるのに使います。
(13ページに詳細説明を記載しています。)
また、警報表示を解除する場合押します。
- 貯氷ランプ……………ストッカーが満氷の時点灯します。

付属品

■FIC-A25/35/45KT2、FIC-A65/75/95KV2



アイススコップ
D500G000(25kg タイプ)
D4000602(35~95kg タイプ)
1 個
氷を取り出す際に使用します。



取扱・据付工事説明書
H30X1300
1 部
取扱説明書…P.1~P.24
据付工事説明書…P.25~P.32
(※)製品を取り扱う際に必要です。
大切に保管してください。



住所一覧表
H3071030
1 部

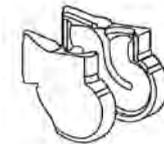
■FIC-A65/75/95KT2



アイススコップ
D4000602
1 個
氷を取り出す際に使用します。



排水トラップ
D405L700
1 個
底面の排水工事に使用します。
《据付工事説明書》排水工事：
P.27~28 参照



排水トラップカバーL/R
J10H9JL/R1
各 1 個
底面の排水工事に使用します。
《据付工事説明書》排水工事：
P.27~28 参照



ホースバンド
S2050901
1 個
底面の排水工事に使用します。
《据付工事説明書》排水工事：
P.27~28 参照



ホースバンド (スナッパー)
S2081400
2 個
底面の排水工事に使用します。
《据付工事説明書》排水工事：
P.27~28 参照



ジャバラホース
S2091100
1 個
底面の排水工事に使用します。
《据付工事説明書》排水工事：
P.27~28 参照



取扱説明書・据付工事説明書
H30X1300
1 部
取扱説明書…P.1~P.24
据付工事説明書…P.25~P.32
(※)製品を取り扱う際に必要です。
大切に保管してください。

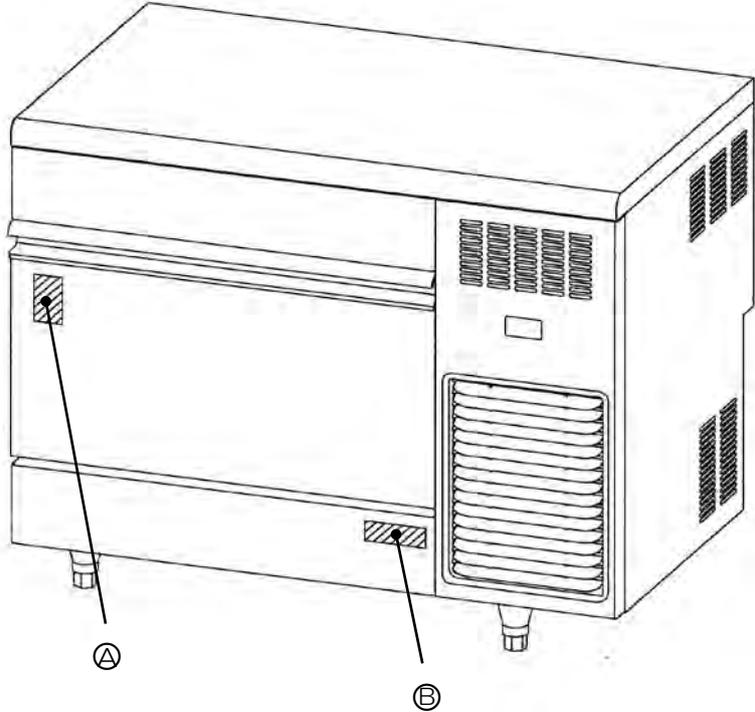
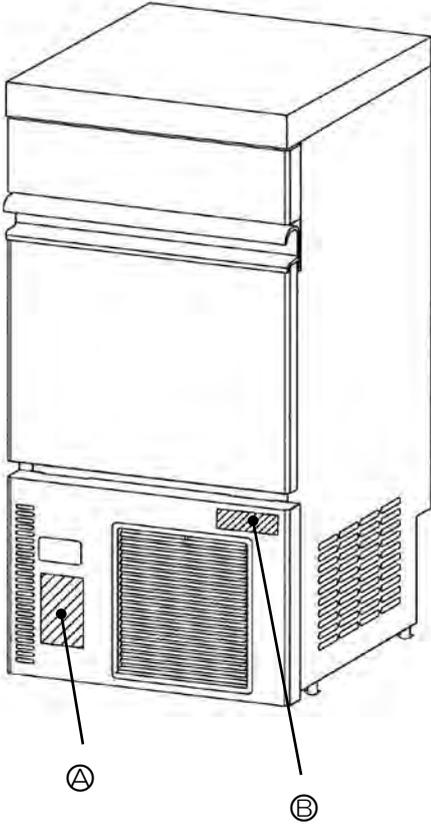


住所一覧表
H3071030
1 部

注意ラベル

■FIC-A25/35/45KT2
FIC-A65/75/95KV2

■FIC-A65/75/95KT2



＜お願い＞

部品に貼り付けの注意ラベルがはがれたり、文字が消えたりした場合は販売店より購入し、貼り替えてください。

Ⓐ

警告	
	この製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず取扱説明書を良くお読みになり、十分に取扱いをご理解ください。
	転倒・事故の恐れあり ●開けた扉の上にものを載せたり、扉を押し下げたりしないこと。
注意	
	雷電の恐れあり ●機械室にものを置いたり、入れたりしないこと。
	感電の恐れあり ●掃除をするときや点検のときは配電ブレーカーを「OFF（切）」にしてから電源プラグを抜くこと。
フロン使用機器	
<ul style="list-style-type: none"> ●この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロンを回収する必要があります。 ●この製品には二酸化炭素CO_2に相当するフロンを使用しています。 	

Ⓑ

注意	
	ケガの恐れあり ●製氷器フィルターを掃除するため、取り外しの際凝結層のフィンに直接手をふれないこと。
	ケガの恐れあり ●機械室内には指や棒などを入れないこと。

Ⓐ

機種名	部品コード	二酸化炭素
FIC-A25/35/45KT2	H00W3910	500kg
FIC-A65/75/95KT2	H00W3930	3000kg
FIC-A65/75/95KV2		

Ⓑ

機種名	部品コード
FIC-A25/35/45KT2	H006B802
FIC-A65/75/95KT2	
FIC-A65/75/95KV2	

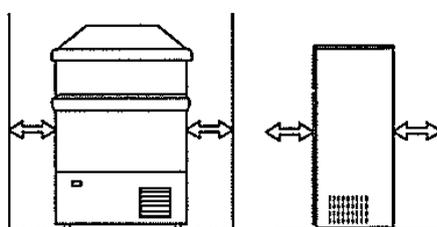
お使いになる前に

据付工事

 警告	●据付けは販売店または専門業者に依頼すること ご自分で据付け工事され不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。	 専門業者
	●酸などの腐蝕性ガスのある場所には据付しないこと 冷却回路や電装品の腐蝕により、漏電・感電・故障の原因になります。	 禁止

据付工事終了時の確認

- 据付け工事が終了しましたら、正しい工事が行われていることを『据付工事説明書の据付作業終了時の確認』の据付作業確認証に従って確認してください。この確認は、お客様が立ち会いの上、専門業者と一緒に行ってください。
- 取扱・据付工事説明書は工事が終了したとき、専門業者よりお受け取りになり、お客様ご自身で保管してください。
- 風通しの良いところに据付けてください。風の吸込・吹出口に障害物がなく、フィルターの吹き出し、氷の取り出しができる場所に据付けてください。



10cm 以上

- 熱の届かないところに据付けてください。直射日光の当たる場所や、発熱器具のそばは特に避けてください。製氷に影響が出る場合があります。
- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を近くに置かないでください。水や湿気に反応して発生するガスがステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。

お知らせ

- 製品の据付け状態により、電話機・インターホン・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような時は、製品からできるだけ離してください。

運転前の確認

 注意	<p>●製氷に使用する水は必ず水道水（飲料用）を使用すること 水道水（飲料用）以外を使用すると、健康障害の原因になることがあります。</p>	 飲料水
	<p>●浄水器の水は使用しないこと 浄水器の水を製氷機に使用すると水道水中の塩素が除去されて、ヌメリ、カビの発生や、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。</p>	 禁止
	<p>●給水圧は0.05～0.78MPaの範囲内で使用すること 高過ぎると、接続部から水漏れをおこし、周囲（家財等）を濡らす原因になることがあります。</p>	 水圧
	<p>●周囲温度が0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは、必ず水抜きをすること 給水管の破損により、水漏れし周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。</p>	 水抜き

<お願い>

- ・使用温度範囲は周囲温度5～35℃、水温5～30℃です。周囲温度が35℃を超える場合は、換気扇などで換気してください。
- ・貯氷庫内は清掃してありますが、念のために、ご使用前にもう1度清掃してください。
- ・プラスチックやゴムなどの臭いがすることがありますが、害はありません。
- ・アイススコップは使用後、ストッカー内のスコップホルダーで保管してください。アイススコップ収納時、必要以上に押し込まないでください。（ストッカー内部品の破損につながるおそれがあります。）

水質について

水道水をご使用になる場合でも、水質によっては製氷機内の水経路にスケールが付着し、製氷量が少なくなったり故障の原因となります。

水質の目安としては「硬度：50mg/L、シリカ：30mg/L」以下の水道水をご使用ください。

水質が上記目安を外れた水道水をご使用の場合、製品が故障して修理に高額な費用が発生する場合があります。水質の目安を外れた水質の水道水は、水質に適した水処理器の取り付けが必要となりますので、水処理専門の業者また販売店にご相談ください。

水を衛生的に使用していただくための注意点

氷を食品としてご使用になる場合、製氷機を衛生的に保つため、日常の管理、点検が重要です。

製氷機を長期間ご使用になりますと、外気、水質など設置環境と経年劣化により、水垢、カビ、錆び、塗装やメッキ面の剥離などが、氷に混入する場合があります。ストッカー内は、日常のお手入れにより、常に清潔に保ってください。

運転のしかた

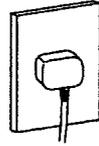
運転のしかた

 警告	
<p>●異常時は漏電遮断器を『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜き、すぐに最寄りの販売店へ連絡すること 異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。</p>	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>
<p>●漏電遮断器が『OFF（切）』に作動した場合には、最寄りの販売店に連絡すること 無理にスイッチを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。</p>	 <small>専門業者</small>
<p>●製氷機構部には絶対に物や手を入れないこと 製氷機構部が動いたとき、ケガの原因になります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●製品にぶらさがったり、乗ったりしないこと 扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと 感電の原因になります。</p>	 <small>ぬれ手禁止</small>

 注意	
<p>●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと 電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと 感電やショートの原因になることがあります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●製品の上にものを置かないこと 落下しケガをしたり、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●製氷機のストッカーの中には氷や付属のスcoop以外のものは入れないこと 雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。</p>	 <small>禁止</small>
<p>●製氷機のストッカーの扉は開けたままにしないこと 雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。</p>	 <small>開放禁止</small>
<p>●吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと 内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。</p>	 <small>挿入禁止</small>
<p>●可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。</p>	 <small>可燃物禁止</small>

運転手順

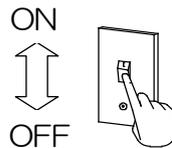
1. 電源プラグを専用コンセントに確実に差し込んでください。



2. 給水バルブ（元栓）を開けてください。



3. 漏電遮断器を「ON（入）」してください。



自動製氷の工程

<製氷工程>

製氷皿を冷却し、水を噴射させながら氷を作ります。



<除氷工程>

製氷皿を温め、氷を落下させます。



<自動停止>

ストッカーが氷でいっぱいになると、運転を停止します。



<自動開始>

ストッカーの氷が減ると、自動的に運転を開始します。

<お願い>

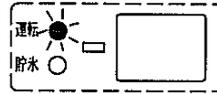
- 電源投入後、第1回目の製氷は洗浄動作を行うため、上下動作を数回（機種により異なる）行いますが、異常ではありません。洗浄動作が必要ない場合は、電源投入後3分以内にUPボタンを押してください。
- 電源投入後、第1回目の製氷時間はストッカー内温度が高く、循環水温も高いため、若干時間がかかりますが、2～3回目以降サイクル時間が安定してきます。運転後90分経過しても製氷できない場合は、給水配管を確認してください。

- 次の場合氷の形が不規則になることがありますが異常ではありません。

- 冬期で特に外気温が低下した場合、氷のくぼみが大きくなる場合があります。
- 氷の使用頻度が低下し、長い間貯氷されていると、氷が溶けてザラザラして透明度が下がりますが、飲み物の中に入れますときれいになります。
- 角氷にくぼみ（穴）がありますが故障ではありません。
- 水質によっては氷が白くにごることがあります。
- 停電などにより、運転が途中で止まったりしたときは、穴の大きな氷ができる場合があります。
- 製氷工程の上で、故障防止のため氷をブロック状（板状）にして製氷し、庫内落下時の衝撃でバラバラにしております。そのため、ストッカー内部で氷がつながっている場合がありますが、アイススコップですくう際に割れる程度であれば異常ではありません。
- 夏場は周囲温度が高くなり、製氷能力が低下します。そのため一晩でストッカーが満杯にならないことがあります。
- 運転中、機械の運転音の他に給水音、水の循環音、氷の落下音がしますが異常ではありません。
- 断水の時は運転を停止してください。

氷のくぼみの大きさを変えたいとき

製氷中（製氷ランプ点灯中）に調整することができます。



<設定方法>

くぼみの小さい氷を作る場合

標準の氷を作る場合

くぼみの大きい氷を作る場合

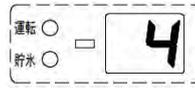
SETボタンを押す



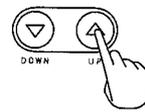
DOWNボタンを押す



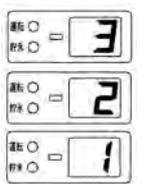
工場出荷時



UPボタンを押す



氷の穴径調整

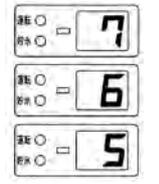


DOWNボタンを押すごとに数字が小さくなります。数字が小さいほどくぼみも小さくなります。

SETボタンを押す
設定完了



氷の穴径調整



UPボタンを押すごとに数字が大きくなります。数字が大きいほどくぼみも大きくなります。

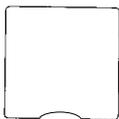
SETボタンを押す
設定完了



SETボタンを押す
設定完了



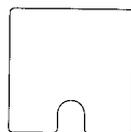
くぼみの小さい氷ができます。



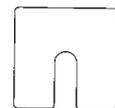
<注意>

- 製氷時間が長くなり1日の製氷量が少なくなります。
- 1回の製氷に必要な消費電力量が多くなります。

標準



くぼみの大きい氷ができます。



<注意>

- 製氷時間が短くなり1日の製氷量が多くなります。
- 1回の製氷に必要な消費電力量が少なくなります。

停止のしかた

停止のしかた



警告

●製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、扉を密閉できないようにすること
幼児が閉じ込められる原因になります。



密閉禁止

●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作をしないこと
感電の原因になります。



ぬれ手禁止



注意

●電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

●電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと
感電やショートの原因になることがあります。



禁止

●1週間以上使用しない場合は、安全のため漏電遮断器を『OFF (切)』にしてから電源プラグを抜くこと
ホコリが溜まって、発熱・発火の原因になることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

●1週間以上ご使用にならない場合は、水抜きをすること
水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



水抜き

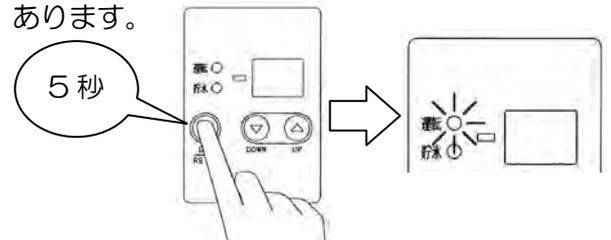
●断水のときは、漏電遮断器を『OFF (切)』にし、給水バルブを閉めること
開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水ができる原因になります。



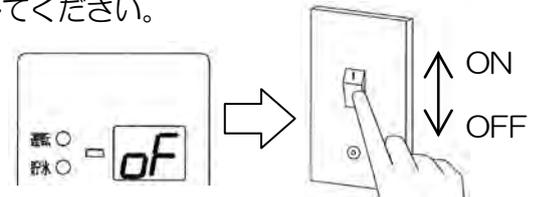
断水時開弁

停止手順

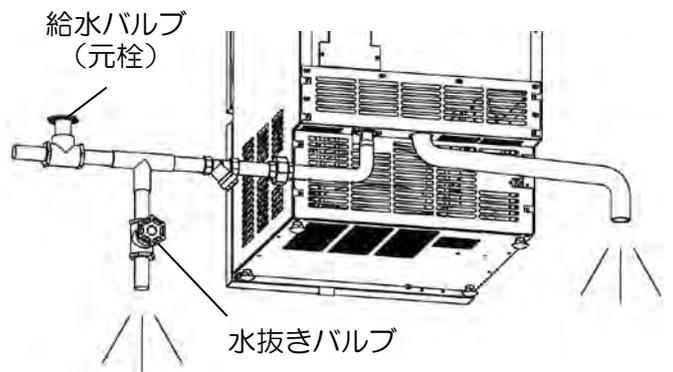
1. 給水バルブ（元栓）を閉じてください。
※ 給水バルブ（元栓）を閉めていないと、水抜きが完全に行えません。操作を始める前に必ず確認をしてください。
2. 機械室パネルを外します。
3. 制御板のSET/RESETボタンを5秒以上長押ししてください。運転ランプが点滅して、停止モードに入ります。
※ 電源投入直後に操作を行う場合は、電源投入から15秒後に操作を開始してください。電源投入直後に操作を行うと、誤作動するおそれがあります。



4. 水抜きバルブを開けてください。
5. 約30分後、表示部に「OFF」表示が出ていることを確認して、漏電遮断器を「OFF (切)」にしてください。



6. 機械室パネルを取り付けてください。
7. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
8. ストッカー内の氷をすべて取り出し、内外部をきれいに清掃し、充分乾燥させてください。



再運転するとき

次に運転するときには、水抜きバルブを閉じて、給水バルブ（元栓）を開け、電源プラグをコンセントに差し込み、漏電遮断器を「ON (入)」してください。

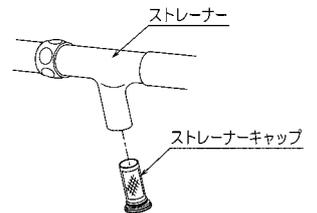
寒冷時の水抜きのかた

 警告	
●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止
 注意	
●周囲温度が0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは、必ず水抜きをすること 給水管の破損により水漏れし、周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。	 水抜き
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。	 禁止

寒冷地など、周囲温度が0℃以下に下がり給水配管が凍結する恐れがある場合、次のことを行ってください。

手順

1. 給水バルブ（元栓）を閉めてください。
2. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
3. 給水配管の水抜きバルブを開けて、ストレーナーのキャップを外し、排水してください。
4. 再び電源プラグをコンセントに差し込み、水が抜けるのを待って、ストレーナーのキャップを取付けてください。



再運転するとき

次に運転するときは、電源プラグがコンセントに差し込んであるのを確認し、給水配管の水抜きバルブを閉じてから、給水バルブ（元栓）を開け、漏電遮断器を「ON（入）」にしてください。

<お願い>

寒冷地帯で排水回路が凍結する恐れがある場合はご相談ください。

長期停止

 警告	
●製品を一時的に使用を中止して保管する場合は扉を密閉できないようにすること 幼児が閉じ込められる原因になります。	 密閉禁止

凍結の原因になりますので水抜きをしてください。

手順

1. 「停止のかた」（P.14 参照）に従って、運転を停止します。
2. 「お手入れ」（P.17～18 参照）に従って、すべてのお手入れを行います。
3. 再開するときは「運転のかた」（P.11～12 参照）に従って確認し、運転を始めます。

 注意	
●一週間以上使用しない場合は、安全のため漏電遮断器を『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜くこと ほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。	 電源プラグを コンセントから 抜く
●一週間以上ご使用にならない場合は、水抜きをすること 水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。	 水抜き

お手入れと点検

 警告		 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に直接水をかけないこと ショート・感電・錆・故障の原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 掃除するときや点検のときは必ず漏電遮断器を『OFF（切）』にして、電源プラグも抜くこと 思わぬところに水が入って感電したり、火傷の原因になることがあります。 	 電源プラグをコンセントから抜く
<ul style="list-style-type: none"> ● 扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと 扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ● アイススコップとスコップホルダーは毎日、ストッカーは1ヶ月に2～3回清掃すること 清掃しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。 	 清 掃
<ul style="list-style-type: none"> ● 製氷機構部には絶対に物や手を入れないこと 製氷機構部が動いたとき、ケガの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。 	 禁 止
<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと 感電の原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと 汚れた手で行うと健康障害の原因になります。 	 清 潔
<ul style="list-style-type: none"> ● いかなる場合も改造は行わないこと 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、漏電・火災等の原因になります。 			

<お願い>

- アイススコップ・スコップホルダー・ストッカー内・凝縮器フィルターは40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形する場合があります。
- クレンザー、酸類、アルコール、ベンジン、ガソリン、オゾン水、シンナー、アルカリ性洗剤、塩素系殺菌消毒剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）、熱湯などは使わないでください。
塗装面がはげたり、傷がついたり、また、プラスチックやゴムの部分が変形、変色、変質します。
- 洗剤を使った後は、洗剤分が残らないように拭き取ってください。
（注意）溶剤を含む洗剤（例えばマジックリン等）は使用しないでください。
プラスチック部品が劣化し、クラック・割れが発生する場合があります。
お手入れをする場合は、ぬるま湯か水で薄めた食器用の液体洗剤を染み込ませた布で拭いた後、乾いた布で仕上げてください。
- 電源プラグを抜いてもしばらくはファンなどが動いていますので、3分以上待ってから点検・掃除を始めてください。
- 電源プラグを抜いた後は、点検・清掃中に誤って差し込むことがないように手元に置いてください。
- 電気装置や内部配線には絶対に触らないでください。

毎日のお手入れ

●アイススコップ

食器用洗剤を使って洗い、洗剤分が残らないように充分すすいでください。
毎日掃除して衛生的にご使用ください。



●スコップホルダー

やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。

1週間に1回のお手入れ

●扉パッキン

パッキンはいつもきれいにしておいてください。汚れた場合は、ぬるま湯をしみこませた布で拭いてください。
食品のカスや汁などをつけたまま使用したり、アルコールでの清掃を行うと早く傷みます。

1カ月に2～3回のお手入れ

●ストッカー内

やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。

<お願い>

ストッカー内のアイスガードは、外さないでください。

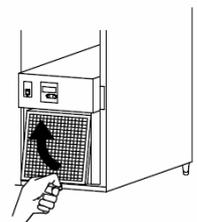
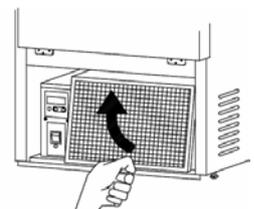
●凝縮器フィルター

 注意	●凝縮器フィルターを掃除するため取り外す際、凝縮器フィンに直接手を触れないことケガの原因になることがあります。	 接触禁止
--	---	---

1. 機械室パネルを外したあと、凝縮器フィルターの下部のツマミを持ち上げ、手前に引いて取り外します。
2. 水または中性洗剤を入れたぬるま湯でネットを破らないように注意して洗ってください。中性洗剤を使ったときは、洗剤分が残らないように充分すすいでください。
3. 洗ったあとは日陰で充分乾かしてください。
4. 逆の手順で外した凝縮器フィルターを取り付けてください。
5. 機械室パネルを正しく取付けます。

<お願い>

- ・凝縮器フィルターにゴミやホコリが付きますと、正常な運転ができなくなります。
- ・凝縮器フィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。



●外装

乾いた布で軽く拭いてください。

それでも汚れがとれないときは、水か中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

●ステンレスの錆について

この製品には、ステンレスを使用していますが水分ならびに水道水中に含まれる塩素分の影響により、ステンレスでも錆びることがあります。(水道水により大きな差があります。)

錆を発見した場合は早めに錆取りを行ってください。

1カ月に1回のお手入れ

●スコップホルダー

1. スコップホルダーが外れるまで、固定している

化粧ネジを手で交互に緩めてください。

スコップホルダーは化粧ネジがついた状態で外れます。

スコップホルダーの奥まで化粧ネジがねじ込まれている事を確認してください。

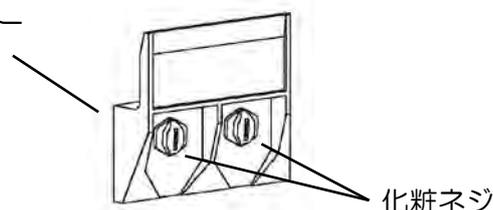
※化粧ネジがスコップホルダーから外れた場合やスコップホルダーの奥までねじ込まれていない場合は、スコップホルダーの奥までねじ込んでください。

2. 取り外したスコップホルダーと貯氷庫内のスコップホルダーの取り付け面を、やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。

3. 化粧ネジがついた状態のスコップホルダーを、庫内に取り付けてください。取り付けの際は、化粧ネジを手で交互に締めて、最後に軽く増し締めを行ってください。

※締め込みが不十分だと、化粧ネジやスコップホルダーの落下の原因になります。

スコップホルダー



化粧ネジ

1カ月に1回の点検

●漏電遮断器



●漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、
感電の原因になることがあります。



1. 機械室パネルを外します。

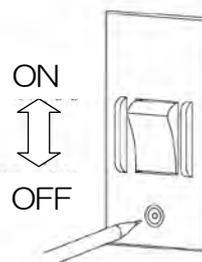
2. 漏電遮断器のテストボタンをボールペンなどの先で押してください。

3. 「OFF (切)」に切り換わります。切り換われば正常です。

4. 「ON (入)」にして、機械室パネルを取付けてください。

<お願い>

スイッチが「OFF (切)」に切り換わらない場合は、
すぐに最寄りの販売店へご連絡ください。



1年に1～2回の点検

●アース線の点検

アース線が切れたり、接続部が緩んでいないか点検してください。

異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。

●電源プラグの点検

	<p>●電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。</p>	 点検清掃
	<p>●電源コードを傷つけないこと 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。</p>	 禁止
	<p>●電源は専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱・火災の原因になります。</p>	 専用電源

1. 電源プラグが専用のコンセントに入っているか確認してください。
他の機器と共用している場合は専用コンセントにしてください。
2. 電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物が載ったり、はさみ込まれたりしていないことを確認してください。異常の場合は、すぐに最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
3. 電源プラグの刃と刃の取付面およびコンセントにホコリがついていない事を確認し、掃除してください。

●給排水管の点検

	<p>●排水管や排水トラップに詰まりがないか、年に1～2回点検を行うこと 排水管や排水トラップが詰まると、漏水から周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。</p>	 排水点検
---	---	---

1. 給排水管の接続部やバルブより水漏れがないか確認してください。
異常の場合は、すぐに最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
2. 排水管や排水トラップにゴミが詰まっていないか確認してください。
詰まりますと、床に水があふれますのですぐに最寄りの販売店へ修理を依頼してください。

修理を依頼する前に

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●異常時は漏電遮断器を『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜き、すぐに最寄りの販売店へ連絡すること 異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。 	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>
	<ul style="list-style-type: none"> ●修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電・火災などの原因になります。 	 <small>分解禁止</small>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたりスイッチ操作をしないこと 感電の原因になります。 	 <small>ぬれ手禁止</small>
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●凝縮器フィルターを掃除のため取り外すときは凝縮器フィンに直接手を触れないこと ケガの原因になることがあります。 	 <small>挿入禁止</small>

- 製品に異常が生じたときは、次の点をお調べになってから、最寄りの販売店にご相談ください。
なお、ご相談されるときはこの製品の型名・製造番号（No. ）および、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

このようなとき	説 明
氷がまったくできないとき	<ul style="list-style-type: none"> ●給水管が凍結していませんか。 凍結している場合は漏電遮断器を「OFF（切）」にして氷が解けるまでお待ちください。 ●水圧が低くなっていませんか。 水圧が低い場合は、最寄りの販売店へ連絡してください。 ●給水バルブが閉まっていませんか。 閉まっていたら開いてください。 ●停電ではありませんか。 通電するのを待ちください。 ●電源プラグが抜けていませんか。 抜けている場合はコンセントに差ししてください。 ●漏電遮断器のスイッチが「OFF（切）」の位置になっていませんか。 漏電遮断器のスイッチを「ON（入）」の位置にしてください。
氷のできが遅いとき	<ul style="list-style-type: none"> ●周囲温度が35℃以上になっていませんか。 換気扇などで換気して周囲温度を下げてください。 ●外部から熱気の影響を受けていませんか。 熱源を遠ざけてください。 ●機械室パネルの前に物を置いて風通しを悪くしていませんか 物を取り除いてください。 ●凝縮器フィルターにゴミが詰まっていませんか。 凝縮器フィルターを掃除してください。

このようとき	説明
穴が大きく不完全な氷ができたとき	<ul style="list-style-type: none"> ●少し前に停電しませんでしたか。しばらく様子を見てください。 ●運転中に漏電遮断器を「OFF」「ON」しませんでしたか。しばらく様子を見てください。 ●水道の水圧が低くなっていませんか。最寄りの販売会社へご連絡ください。
本体から水が漏れたとき	<ul style="list-style-type: none"> ●排水管や排水トラップが詰まっていますか。 ●排水管が折れ曲がってつぶれていませんか。 ●排水管が排水口より高くなっていませんか。 ●排水管が下水管に直結されていませんか。 ※上記内容に問題がある場合は最寄りの販売店にご連絡ください。お客様での修理は絶対に行わないでください。
異常音がするとき	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中は、機械の運転音の他に給水音・水循環音・氷の落下音がします。これは異常ではありません。 ●床がしっかりしていますか。弱い場合は最寄りの販売店へご連絡ください。 ●据え付けが悪く、がたついていませんか。脚を調整してください。 ●製氷機に何か触れていませんか。接触している物を取り除いてください。
これは故障ではありません	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の外部に露がつくことがあります。これは製氷機内部が冷えているためです。露がついたときは、柔らかい乾いた布で拭きとってください。 ●運転中に冷凍サイクルの中の液（冷媒）が流れる音「シュー」がすることがあります。また、製氷室から氷が落下する音「ゴトン」がします。いずれも故障ではありません。

●警報表示部が下記になった場合の対応

表示	意味	説明
HP	周囲温度高温警報	<ul style="list-style-type: none"> ●凝縮器フィルターは汚れていませんか。 ●周囲に熱源や日光の直射を受けたり、周囲温度は高くありませんか。
FL	周囲温度高温警報	
-E0・E0 -E1・E1 -E2・E2 -E3・E3	冷媒センサー短絡・断線 水温センサー短絡・断線 警報センサー短絡・断線 外気センサー短絡・断線	<ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げの販売店にご相談ください。
-EA・EA	アクチュエーターモーター故障	<ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げの販売店にご相談ください。
AL (オプション)	通信異常警報	<ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げの販売店にご相談ください。

上記の表示が出る場合は、一度説明の内容を確認してください。

確認しても繰り返してる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

移設・廃棄・譲渡

■移設



警告

移設は、販売店または専門業者に相談すること

- 据え付け不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



専門業者

- 転居の際は住所変更先をお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 長距離の運搬移動の際には厳重に荷造して、横積み・逆積みなどしないようにしてください。

■廃棄



警告

廃棄は専門業者に依頼すること

- 放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。適切な廃棄を行わない場合、違法行為となり罰則が課せられます。



専門業者

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにすること

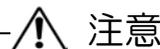
- 幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。



専門業者

- 必ず、蝶番または錠の所を壊して扉が密閉できないようにしてください。
- この製品は「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」の第1種特定製品です。廃棄するときは、フロン類を都道府県に登録された第1種フロン類充填回収業者に引き渡すか、設備業者に委託し、都道府県に登録された第1種フロン類充填回収業者に引き渡して下さい。(有料)
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、無断で廃棄されると違法行為となり、罰則が課せられます。
- 幼児が遊ぶような所には放置しないでください。

■譲渡



注意

譲渡の際はこの取扱・据付工事説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

- 新しく所有者となる方が安全で正しい使い方を知るために必要となります。



注意

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書

- ・この製氷機には、「保証書」を別途添付しております。
- ・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みした後、大切に保管してください(無記載や書きかえ、紛失した場合は保証期間内でも保証修理をお断りする場合があります)。
- ・この製氷機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ただし冷凍サイクルは2年間です。その他くわしくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

- ・製氷機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後9年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ・修理に関するご相談や不明な点は、お買い上げの販売店または、お近くの支店、営業所にご相談ください。なお、所在地は添付一覧表をご参照ください。

修理を依頼されるときは

出張修理

- ・ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。また、食品の補償、営業補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください(ご提示がない場合、保証期間内でも保証修理をお断りする場合があります)。

保証期間が過ぎているときには

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

保証対象外項目

- ①以下のような現象等、不具合と認められないもの。
 - ・通常の使用消耗、経年変化による現象(プラスチック部品・塗装面・メッキ面・自然退色・劣化・剥離等)
 - ・性能上問題がないことが一般的に認められている現象(通常の運転音・振動・操作感)
- ②以下のような外的要因による不具合で、当社責任ではないもの。
 - ・火災、地震、水害、落雷、塩害、有毒ガス、薬品、その他の天災地変、公害や異常電圧、ノイズによる故障及び損傷
 - ・給排水管の破損、異物の詰まりによる不具合
 - ・給水(または規定の水圧)、給電(または規定の電圧)が行われなかったことに起因する不具合
- ③以下のような適切な使用・管理が行われていないことに起因するもの
 - ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下などによる故障及び損傷
 - ・法令等で定められた安全性確保に関する日常及び定期的な点検整備未実施による不具合
 - ・本説明書、本体貼付ラベルに記載されている以外の不適切な使用条件、環境、取扱い、使用方法、用途、及び不注意や過失等に起因する不具合
 - ・通常の注意で発見・処置できずにもかかわらず放置したことにより拡大した不具合
 - ・当社指定の部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことに起因する不具合
 - ・当社指定技術者以外による修理や改造による故障及び損傷
 - ・他製品によるノイズ・電波等、本製品以外を原因とする不具合
 - ・寒冷時における製品内の凍結による不具合
 - ・車両、船舶などに、備品として使用した場合に生じる故障及び損傷
 - ・定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

ご連絡していただきたい内容

品名	製氷機	
型名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。	
お名前	電話番号	訪問ご希望日
便利メモ	販売店名	
	電話番号	

販売店名を記入されておくと便利です。

長年ご使用の機器の点検について

安心してお使いいただくために、定期的な点検・お手入れを！

チェックポイント	お手入れと対策
製品の周囲に隙間がない、あるいは凝縮器フィルターが目詰まりしていませんか。	排熱が悪くなって冷却性能が弱まり、電気代のムダになるので、隙間をあけてください。凝縮器フィルターは取扱説明書に従い定期的に清掃してください。
電源プラグや電源コードが製品本体や他の製品で押し付けられていませんか。	電源プラグが損傷しないよう、隙間をあけて設置してください。
電源プラグをコンセントに差し込んだ時、差し込み状態がゆるくガタついていませんか。	異常の場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
電源プラグ、コンセントの周囲にホコリや湿気がついていませんか。	電源プラグをコンセントから抜いてから乾いた布でホコリや湿気を取り除いてください。
雨水がかかる可能性がありますか。	製品は屋内用です。雨水のかかる場所でご使用されると漏電・感電の原因になります。必ず屋内でご使用ください。

以下のような異常を見つけた場合は、直ちにご使用を中止し、漏電遮断器を『OFF(切)』にしてから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードの被覆が破れている、挟まれつぶれた跡、かじられた跡がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体にさわるとピリピリと電気を感じる。
- 漏電遮断器が動作する。
- 異常音や異常振動がする。
- 運転音が異常に大きくなった。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	TEL		

製氷機

据付工事説明書

形名 FIC-A25KT2

FIC-A35KT2

FIC-A45KT2

FIC-A65KT2

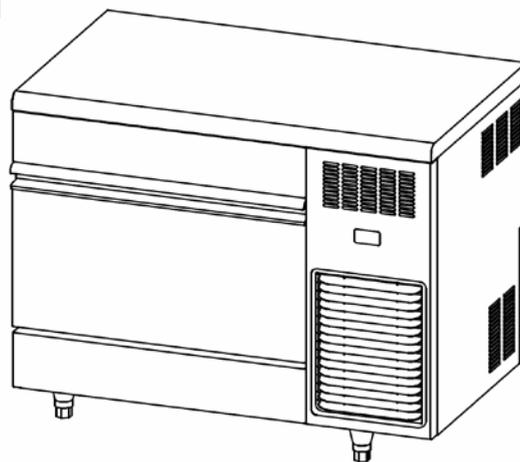
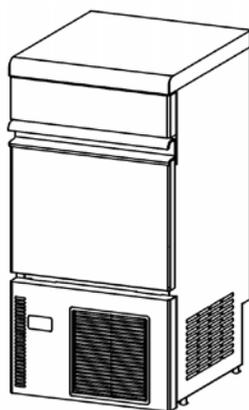
FIC-A65KV2

FIC-A75KT2

FIC-A75KV2

FIC-A95KT2

FIC-A95KV2



もくじ

据付工事	26
給排水工事	27~28
電気工事	29
据付工事終了時の確認	30
試運転	30

- この商品を安全に正しく据付けていただくために、据付工事の前に据付工事説明書をよくお読みになりこの据付工事説明書にしたがって確実に据付けを行なってください。
- 据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この取扱・据付工事説明書は工事完了後、お客様にお渡しし、お客様で保管いただくように依頼してください。

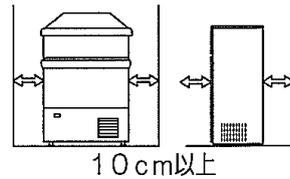
据付工事

⚠ 警 報	
据付けは、販売店または専門業者に依頼すること	 <small>専門業者</small>
●ご自分で据付け工事され不備があると、水漏れや感電火災の原因になります。	
据付け工事は、この据付工事説明書に従って確実にすること	 <small>据付工事</small>
●据付けに不備があると、感電・火災の原因になります	
据付けは製品の重量に充分耐える所に確実にすること	 <small>強度確認</small>
●強度不足や取付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりケガの原因になります。	
屋外で使用しないこと	 <small>屋外禁止</small>
●雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。	
湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据付けないこと	 <small>水掛禁止</small>
●絶縁低下から漏電・感電の原因になります。	

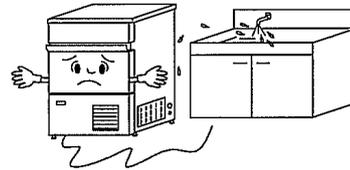
⚠ 注 意	
床面が丈夫で平らな所に水平になるように据付け、転倒防止の処置をすること	 <small>設置注意</small>
●据付けに不備があると、転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。	
製品の上にものを置かないこと	 <small>禁 止</small>
●落下しケガをしたり、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。	
床がぬれても良いところに据付けること	 <small>設置注意</small>
●給排水の水漏れや結露水の発生から周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。	
周囲温度が0℃以下になる場所へは据付けないこと	 <small>設置禁止</small>
●給水管の破裂から浸水し、家財をぬらしたり、足を滑らせて転倒するなどケガの原因になることがあります。	

<お願い>

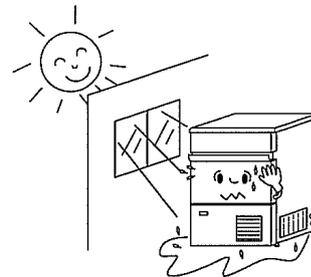
- 風通しの良い所に据付けてください。
風の吸込・吹出口に障害物がなく、フィルターの抜き出し、氷の取り出しができる場所に据付けてください。



- 湿気の少ない所に据付けてください。湿った床、流し台のそばには据付けないでください。

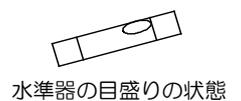
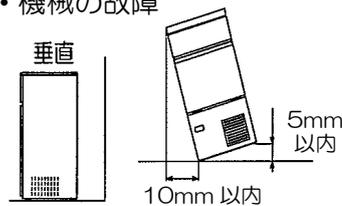


- 熱の届かない所に据付けてください。
直射日光のあたる場所や発熱器具のそばは特に避けてください。冷えが悪くなります。



- 垂直に据付けてください。垂直に据付けられていないと、次のような不具合が起こります。

- ・氷の大きさの不均一
- ・離氷不良
- ・ストッカー内に水があふれる
- ・機外への水漏れ
- ・機械の故障



- 使用温度範囲は
周囲温度：5～35℃
水温：5～30℃ です。

給排水工事

 注 意	
据付工事説明書にしたがって、給排水工事を確実にすること ●給排水の水漏れから周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。	 配管
給水圧は 0.05～0.78MPa の範囲内で使用すること ●高過ぎると接続部から水漏れを起こし周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。	 注 意
製氷に使用する水は必ず水道水（飲料用）を使用すること ●水道水（飲料用）以外を使用すると健康障害の原因になることがあります。	 飲料水
浄水器の水は使用しないこと ●浄水器の水を製氷機に使用すると水道水中の塩素が除去されて、ヌメリ、カビの発生や、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。	 禁 止
排水配管は十分な排水能力を確保すること ●毎分2～8Lの流量で間欠的に排水します。 また、部品が故障した場合は、連続的に排水することがあります。 十分な排水能力がない場合には、水が床に漏れます。	 排水工事

【配管材について】

給水配管は地域の水道局認可のフレキシブル管・硬質塩化ビニール管・硬質塩化ビニールライニング鋼管等をお使いください。排水管は硬質塩化ビニール管などをお使いください。

【配管類の洗浄】

配管類は接続する前に充分洗浄してください。

配管類には切り粉・切削油・異物などが付着しています。これらが混入しますと、ストレーナーのフィルターやウォーターバルブが詰まり故障するおそれがあります。

【配管接続部について】

配管類はシール材・シール用テープ・パッキングなどを使用して、水漏れがないように接続してください。シール材は配管が詰まったり、水に臭いが付くような物は、使わないでください。

【給水工事】

- 給水口のサイズはG1/2です。
- 給水配管（フレキシブルチューブ等）・ユニオン管継手・ストレーナー・開閉バルブ・水抜きバルブを用意して必ず取り付けてください。
- ストレーナーは配管内の異物を取り除く作用がありますので、用意して必ず取り付けてください。
- ストレーナーは清掃ができる位置に設けてください。
- ストレーナーはオプション品のため、本製品には付属していません。
- 給水圧は 0.05～0.78MPa の範囲で使用してください。給水圧が 0.78MPa を越える場合は、減圧弁を取り付けてください。
- 塩ビ管で配管工事を行なうときは、接合部に使用する接着剤が乾くのを待って通水してください。給水電磁弁のつまりの原因となります。〔通常で 1 時間、給水圧変動が 0.3MPa 以上である場合は 24 時間〕
- ネジ締めはシールテープまたは液体ガスケットを使用してください。
- シールテープは切れ端が給水電磁弁のつまりの原因にならないように注意してください。

- 周囲温度が0℃以下で製品が保管されていると、給水管内の水が凍結して製氷されない場合があります。第1回目の製氷にて氷が出来ていることを必ず確認してください。電源投入後、第1回目の製氷は洗浄動作を行うため、上下動作を数回（機種により異なる）行いますが、異常ではありません。洗浄動作が必要ない場合は、電源投入後3分以内にUPボタンを押してください。電源投入後、第1回目の製氷時間は貯水庫内温度が高く、循環水温も高いため、若干時間がかかりますが、2～3回目以降サイクル時間が安定してきます。運転後90分経過しても製氷できない場合は、給水配管を確認してください。

【排水工事】

排水ホースは下げ勾配を取ってください。

●FIC-A25/35/45KT2、FIC-A65/75/95KV2

機内にトラップを内蔵しています。機外にトラップを設けないでください。機外にトラップがある場合、ストッカー内に水が貯まり流れないことがあります。

●FIC-A65/75/95KT2

下記の手順で付属品を接続してください。

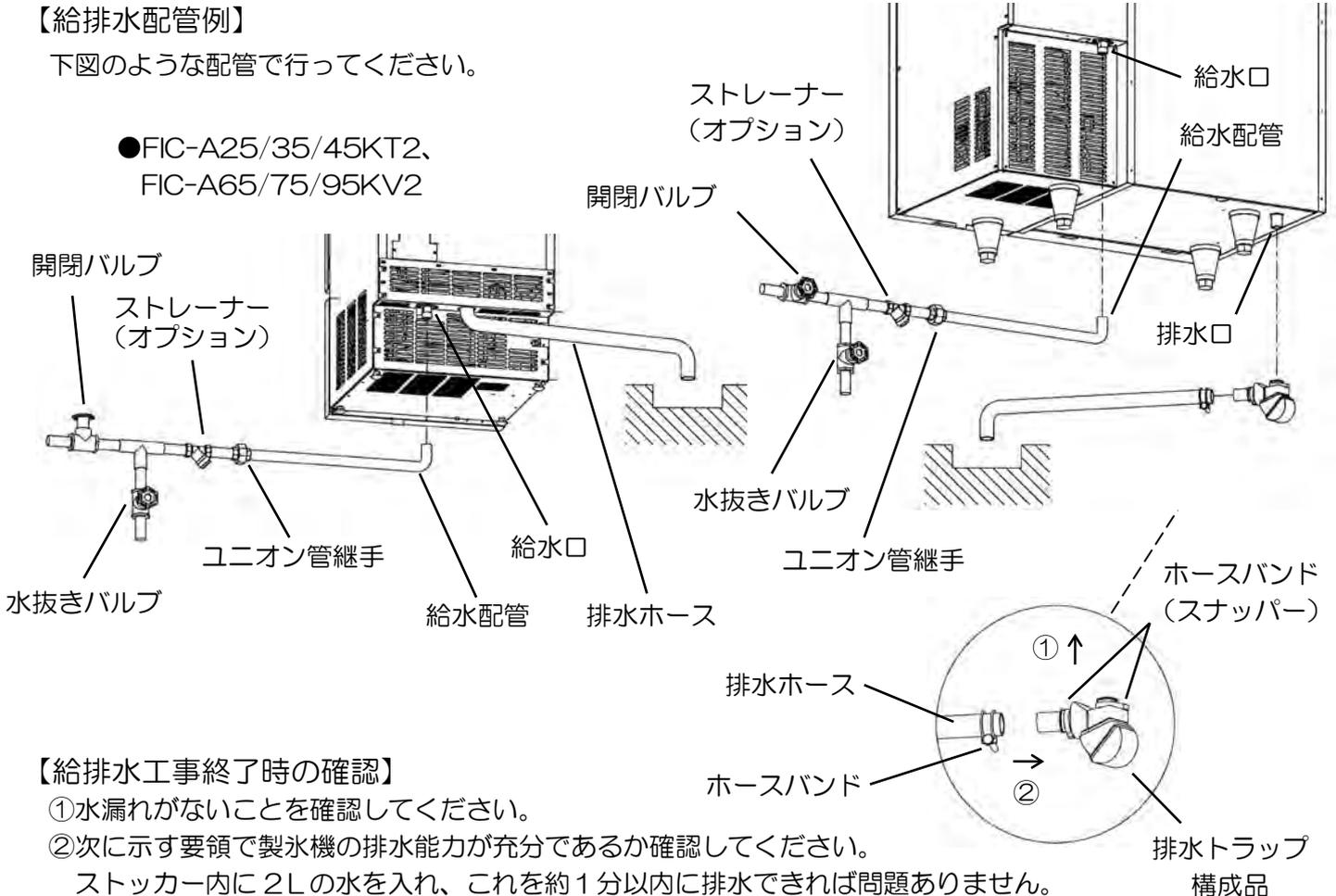
- ①排水トラップ構成部品を排水口に接続し、ホースバンド(スナッパー)で固定してください。ホースバンド(スナッパー)は、専用工具またはウォーターポンププライヤー等で水が漏れないように締め付けてください。
- ②排水ホースを排水トラップ構成部品に接続し、ホースバンドで固定してください。接着剤(エスロン等)は使用しないでください。

- 周囲温度が0℃以下で製品が保管されていると、排水管内の水が凍結して排水されない場合があります。運転前に必ず排水能力を確認してください。

【給排水配管例】

下図のような配管で行ってください。

●FIC-A25/35/45KT2、FIC-A65/75/95KV2



【給排水工事終了時の確認】

- ①水漏れがないことを確認してください。
- ②次に示す要領で製氷機の排水能力が充分であるか確認してください。
ストッカー内に2Lの水を入れ、これを約1分以内に排水できれば問題ありません。

電気工事

⚠ 警 報
<p>電気工事は『電気設備に関する技術基準』『内線規程』および、本据付工事説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用すること</p> <p style="text-align: right;">! 電気工事</p>
<p>●電源回路不良・容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。</p>

【アース線の接続】

⚠ 警 報
<p>アース工事を必ず行うこと</p> <p style="text-align: right;">⚡ アース工事</p>
<p>●アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)</p>

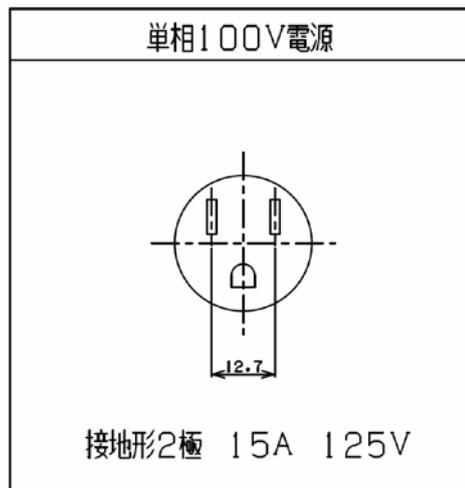
【電源ラインの接続】

⚠ 警 告
<p>電源は専用コンセントを使用すること</p> <p style="text-align: right;">! 専用電源</p>
<p>●電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱・火災の原因になります。</p>
<p>電源コードを傷つけないこと</p> <p style="text-align: right;">⊘ 禁 止</p>
<p>●加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、束ねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
<p>ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと</p> <p style="text-align: right;">⊘ ぬれ手禁止</p>
<p>●感電の原因になります。</p>

⚠ 注 意
<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと</p> <p style="text-align: right;">⊘ 禁 止</p>
<p>●必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき火災・感電の原因になることがあります。</p>
<p>電源電圧は90~110Vの範囲内で使用すること</p> <p style="text-align: right;">! 電 圧</p>
<p>●この範囲以外では機械の故障や製氷能力の低下を招く原因になることがあります。</p>

製品にあった電源回路容量を確保し、適した配線用ブレーカーを設けてください。

- コンセントの寸法について
製品にあったコンセントを設けてください。単相100V機種では接地極付コンセントを使用してください。



据付工事終了時の確認

据付工事が終了したら、お客様立ち合いのうえで『据付作業確認証』にあるチェック項目を確認してください。すべての項目を確認のうえ、お客様のサインをいただき、工事担当者もサインしてください。

試運転

 警告	<p>いかなる場合も改造は行わないこと</p> <p>●改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。</p>	 改造禁止
--	---	---

取扱説明書の「運転のしかた」に従って運転してください。

機器のはたらき

	製氷運転	離氷運転
圧縮機	ON (ビーンという音)	ON (ビーンという音)
凝縮器ファン	ON (風が出てくる)	OFF
水ポンプ	ON (水が流れる)	OFF

①給水系統から水漏れがないか確認してください。

②ストッカー部からの排水性能を確認してください。

項目	チェック方法
排水性能は十分か	電源ONから5分間ストッカーの底に水のたまりができればOK
逆流することはないか	併設シンク等流し台がある場合、バケツ1杯を一気に流す。ストッカーの底に逆流してこなければOK

③異常な音、振動はありませんか。

- ・製氷機の水平度は脚の長さで調整してください。

④試運転後の処理

- ・水配管、ストッカー内の清掃
水配管とストッカー内の清掃を行ってください。
- ・試運転時にできた氷の処置
最初の1～2サイクル分の氷は捨ててください。
- ・ストレーナー点検
水用ストレーナーの清掃を行ってから引き渡してください。ストレーナーのキャップを外し、網を取り出して歯ブラシ等で水垢やゴミを掃除してください。特に新築のビルなどの場合は水配管のゴミや切粉がつまりやすいので、ご注意ください。

初期運転特性

試運転または長時間停止後、再び運転するときに下記状態になることがあります。これは異常ではありません。

- ・第1回目の製氷時間は、ストッカー内温度が高く循環水温も高いため、若干時間が長くなりますが2～3回目以降、サイクル時間が安定してきます。

据付作業確認証

- ① アース工事は確実ですか。
- ② 専用コンセントを使用していますか。
- ③ 電源は製品の仕様に合っていますか。
- ④ 電源電圧は仕様の90～110Vの範囲に入っていますか。
- ⑤ 電源コードを傷つけていませんか。
- ⑥ 床面は丈夫で平らですか。
- ⑦ 製品は水平に据え付けられていますか。
- ⑧ 周囲温度は5～35℃の範囲ですか。
- ⑨ 給排水工事は確実ですか。
- ⑩ 給水圧は0.05～0.78MPaの範囲内ですか。
- ⑪ 換気扇、給気口は取り付けましたか。
- ⑫ 水道水を使用していますか。

チェック年月日 年 月 日

チェック者

お客様

工事会社担当者



福島工業株式会社

本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 3-16-11 TEL (06) 6477-2011

H30X1303